



特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ

2007年度社員総会

1. 2006年度事業報告	(採決事項①)	1
2. 2006年度決算報告	(採決事項②)	10
3. 2007年度事業計画(案)	(採決事項③)	19
4. 2007年度予算(案)	(採決事項④)	26
5. 理事改選	(採決事項⑤)	28
5. 理事長専決事項について	(採決事項⑥)	29

日時：2007年6月10日(日)

場所：クラブハウス セミナールーム

1 . 2006 年度事業報告：採決事項

月	会議・事業等	プログラム
4	8 第1回理事会	・サッカー（広場、U-15、U-18、選手、生涯） ・ヨガ、キッズテニス他 ・U-15 日本CY県予選
5	27 第2回理事会	・U-15 高円宮
6	03 総会	・U-14 新人リーグ
7	03 第3回理事会	
8	13 第4回理事会 19 臨時総会	
9	23 クラブ視察受入（日高市） 30 事務所移転	・U-15 県選手権
10	09 埼玉県地域クラブフェスタ参加 21 第5回理事会 31 浦高 Proj 3者会議	
11	25 全国体力づくりフェスタに協力参加 28 フラット常盤無償貸借契約	・ヨガ スタジオにて開始
12		
1	06 第6回理事会 26 視察受け入れ（帯広市他）	・フラット常盤 ヨガ開始
2	25 視察受け入れ（かなざわSC）	
3	14 浦高 Proj 3者会議	・生涯、選手 07年度さいたま市民リーグ
4	15 第7回理事会 26 浦高 Proj 3者会議	・U-15 日本CY県予選

* 各欄の左端の数値は 日付を表す

(総論)

06年度は、以下のような大きなできごとがありました。

サッカー育成の指導体制の一新
クラブ初の職員誕生
クラブハウス整備(事務所の移転とスタジオの整備)
フラット常盤の借り上げ

05年度末にサッカー育成指導者の辞任を受け、06年度に当初より、選手としても指導者としても豊富な実績のある柴田監督をお迎えし、その教え子でもある大藤コーチとの常時2名体制でユースの指導にあたっていただくこととなりました。

さらに、このような活動現場と事務局をつなぐとともに、広場をはじめとした子ども向けのプログラムなどの管理を充実するために、クラブとして初めて常駐職員を雇用しました。

10月に新事務所に移転、11月に事務所上階のスタジオがオープンしました。03年度～05年度にかけて貯めてきたお金のほとんどを使ってしまいましたが、自分達で自由に使える空間ができたことは、今後の活動展開にむけて大きな一歩であると言えます。

また、これまでの活動を認めていただき、埼玉工業さんからフラット常盤のセミナールームをお借りすることができたことも、大きなできごとでした。当初予定よりは、遅れておりますが、徐々に地域の子も達や高齢者の方々に利用していただける体制を整えていきたいと思ひます。

このようにハード施設の整備にあわせて、ヨガ・エクササイズはクラス数を増やし、会員も順調に増加してはいますが、その他のプログラムの展開はあまり進みませんでした。子ども向けのキンダーコーディネーションや高齢者向けの太極拳などでは新規会員が確保できずに、減少傾向にあります。広報の工夫とともに、魅力あるプログラムとしていく工夫が必要です。

06年度末で会員数は約1,200名となりました。複数のプログラムに参加する子もおり、多目展開の意義が感じられるようになってきましたが、クラブをとおした会員相互の交流などは、クラブハウスのさらなる活用とあわせて、これからの課題といえます。

(年度当初事業計画と成果)

06年度当初事業計画	成果
<p>1. 既存活動の充実、発展を図る (1) サッカー 1) 普及事業 サッカー広場の開催 月曜広場 15時～19時 駒場サブグラウンド 臨時広場 木曜日(月3回程度) 15時～17時 広場指導者の質の向上、活動の活性化 その他 ・次年度以後のサッカー広場の継続的開催及び、木曜の臨時広場の安定化にむけた活動</p>	<p>広場は、これまで通り開催できた。 小ミーティングを定期的で開催し、指導者間のコミュニケーションが改善した 指導者安定確保の道筋ができていない 後援申請が認められなかった。</p>
<p>2) 育成事業 育成部のサポートスタッフの拡充を図る 小6スクール U-15 ・毎週の定期的な練習(火・水・金・土・日) ・埼玉県クラブユース連盟(U-15) U-18 ・再登録を目指す 一般(選手) ・浦和リーグ1部に参加 ・埼玉県サッカー協会社会人連盟加盟 ・県リーグへの復帰を目指す</p>	<p>育成部のサポート体制構築には着手できなかった 一部実施したが、短期間の実施となった 定期的に練習を行い、レベルアップがみられた。 再登録ができなかった。</p> <p>1部リーグ残留。 メンバー減少によりチーム運営困難</p>
<p>3) 振興事業 生涯コース ・市民リーグけやきリーグに参加(比較的若手) ・市民リーグシニアリーグに参加(35歳以上) ・毎週土日の練習(平日開催を望む声もある) スーパーシニア 審判・指導者の養成</p>	<p>けやきは2連覇を果たした シニアは、人数不足が何回かあった 新規会員が獲得できておらず減少傾向にある スーパーシニアは順調に増加 審判資格取得者あり</p>

06年度当初事業計画	成果
<p>(2) テニス キッズテニス ・駒場体育館の会員増加をはかる ・周辺小学校への展開を図る(中尾小)</p> <p>ジュニア ・インドアテニス、硬式テニスの場の確保</p> <p>一般 ・テニス教室の開催</p> <p>(3) フィットネス ・シニア向け、子ども向けの充実を図る ヨガ・エクササイズ ・活動の拡大 キンダー ・会員増加をはかる 太極拳</p> <p>(4) 講習会 ・浦和スポーツ塾の定例化</p> <p>(5) その他 クラブニュースの発行 HPの運営</p>	<p>駒場の会員増加はある程度達成できた。ただし学年があがることで、環境が変化し、この影響を受けて継続が不安定 中尾小を開始した (ジュニア)硬式テニスの準備ができた(4月からスタート)。ただし、場所は天沼でありやや遠い。 初心者向けコースを始めた。</p> <p>着手できなかった 新スタジオ、フラット常盤においてクラス数の増加をはかった(計22クラス) 新規の会員確保に難がある。PRに工夫が必要。 会員が減少傾向にある</p> <p>救急救命講習を行なった(参加者20名)</p> <p>vol.62~73を発行 HPの更新が滞った。新WEBが開設できていない。</p>
<p>2. クラブの組織体制、情報発信機能の整備</p> <p>(1) 組織体制について</p> <p>(2) 情報発信機能の整備について</p>	<p>検討は進めたが、部門ごとの活動は十分に整理されていない。 サーバー借りに伴い、MLが作成できるようになった テニス初心者クラスはMLを活用 HPの更新が滞っている</p>
<p>3. 地域との連携強化を図る</p>	<p>埼玉県地域スポーツクラブフェスタに協力した。(10/9)</p>
<p>4. クラブ会員の交流機会を増やす</p>	<p>クラブハウスの開設パーティ(約25名) キンボール大会(春5名、冬30名)</p>
<p>5. クラブの活動拠点を確保する</p>	<p>クラブハウスの移転、スタジオ整備 フラット常盤の借上げ フラット常盤においてヨガ以外のプログラム運営が始められなかった。 浦高Proj 3者会議に参加</p>

【サッカー】

(サッカー / 普及 : 広場)

- ✓ 指導者間の意見交換や研究心が芽生え、「はだしの日」を設けたり、新しいプログラムにチャレンジしたりしました。
- ✓ その一方で、特に高学年の子ども達にとっては、物足りなさが出てきているようです（高学年では人数が増えない）。上手な高学年がきても、仲間と楽しんだり、コーチ相手に挑んできたという環境をつくるためには、プログラムの工夫や、若手指導者の確保と指導力の向上が課題となりました。
- ✓ 広場指導者が体力づくり全国フォーラムに協力し、「JFAプログラム めざせクラッキ」などに参加しました。

(サッカー / 育成)

- ✓ ユースでは、柴田監督の教え子である金子コーチ、そして元アルディージャで活躍された佐藤コーチも臨時コーチとして参加していただくことができました。
- ✓ U-15は少人数ですが、確実なレベルアップが図られてきたことを実感できる年度となりました。
- ✓ 審判や大会運営の補助など、ユースチームを会員がサポートする体制が十分には構築できませんでした。
- ✓ 選手チームは1部では6位でしたが、ブロックリーグでは2位と健闘しました。
- ✓ 新年度にむけて、選手の人数が減少し、チーム運営が困難になり、生涯の若手の移籍により対応することとなりました。

(サッカー / 振興 (生涯スポーツ))

- ✓ 生涯の若手がはげやきリーグに参加していますが、2連覇を果たしました。
- ✓ シニアチームは、大宮シニアリーグに参加しましたが、人数不足を生じることもありました。
- ✓ 引越し等で退会される方がいる一方で、新入会員があまりはらず、人数が減少してしまいました。
- ✓ スーパーシニアは順調に人数が増加し、23名の方が参加されています。

【テニス】

(テニス / キッズ)

- ✓ 中尾小でもキッズテニスが始まりました。
- ✓ インドアテニスの新たな会場確保ができませんでした。
- ✓ 屋外のジュニアテニスは、天沼テニスコートで07年度から開始することで準備を進めました（07年4月から開始している）。近隣ではナイター会場の確保ができませんでした。
- ✓ 定員に達していない会場が少なくないことから、PRが課題となりました。

(テニス / 一般)

- ✓ 交流センターで行なっている初・中級者テニスでは、会場確保のための抽選会への出席を、会員の方に対応していただくこととなりました。
 - ✓ 初心者テニスを開始しましたが、固定した会場が確保できず、市営コートなど数箇所を利用しています。メーリングリストを活用し、携帯で連絡をとりあうことで、コートの変更などに対応しています。
-

【フィットネス】
(ヨガ・エクササイズ)

- ✓ スタジオの整備により、1クラス50名を30名定員となったこととあわせて、じょじょにクラス数の増加をはかり、16クラスを実施しています。
- ✓ フラット常盤でも1月からプログラムを開始し、6クラスにまでなりました。
- ✓ 領家スタジオでは、託児も始めました。託児には、会員やその知人の方から、保育士の経験者の方などをさがし、お願いをしています。現在、20名(10名/クラス×2クラス)まで実施していますが、まだ需要は多く、増枠を望む声が少なくありません。
- ✓ 以前からの会員などを中心に、指導者の養成をはかり、計9名の体制をしいています。
- ✓ 近隣のクラブ等にも応援に出ており、上尾、見沼などでもヨガ・エクササイズの普及に努めています。

(キダーコーディネーション)

- ✓ 対象学年の変わり目で人数が減少してしまいました(新しい子が少ない)。
- ✓ いろいろな動きをとり入れることから、参加している子ども達には良い効果が出ているようです。体を動かして遊ぶことが好きになり、昨年までの3年生は、その後の継続も望み、スポーツ探検広場として月2回の実施を継続することとなりました。
- ✓ プログラム名になじみがなく、内容がわかりづらいということから、07年度より体操広場と名を改めることとしました。

(太極拳)

- ✓ 会員数が増えないことが課題となっています。
- ✓ (高齢の方が多いため)クラブハウススタジオ(3F)での開催が難しく、公民館で開催していることから、南筒公民館、北浦和公民館と場所が変わってしまうことや、月3回程度の確保しかできないことが課題となっています。

【その他】**(魅力アップ事業)**

- ✓ 子どもや親子を対象としたキンボール交流会を3回ほど開催し、定期プログラムの枠を超えた交流の場を提供しました。
- ✓ クラブハウスの開設記念のパーティを開催し30名ほどの参加がありました。特別職の八木相談役や、武政議員もご参加いただきました。

(浦和スポーツ塾)

- ✓ 春に、木崎消防署のご協力により救急救命講習会を開催し、主にAEDの使い方、人工呼吸などについて講習を受けました。約20名が参加しました。

(クラブ視察の受け入れ)

- ✓ 北海道日高市、北海道帯広市、石川県金沢市のクラブ設立準備委員会の方々が見察にこられました。
-

(地域交流・拠点確保)

- ✓ 埼玉県教育委員会の施策である「地域を元気にするファイブクラブ支援モデル事業」として、当クラブと浦和高校、県教育委員会の協議が開催されました。
- ✓ H18 年度は3回の会議が開催され、浦和高校を利用した地域住民に貢献するプログラムの実施にむけて準備を進めています。

(県等との協働)

- ✓ 埼玉県広域スポーツセンターが開催した地域クラブフェスタ(10/9)の実施にむけて企画、運営を全面的に支援しました。
- ✓ 地域クラブフェスタをきっかけとして、中古テニスボールの回収と学校への寄贈を行ないました。テニスボールは1万個以上を回収し、さいたま市内の小中学校等の図書館や教室において机や椅子の足に取り付けが進んでいます。
- ✓ 1億2千万人の全国体力づくりフェスタ(文部科学省、(財)健康・体力づくり事業財団主催)の運営に協力参加し、「JFAめざせクラッキ(キッズサッカープログラム)/特別コーチ澤登氏」において用具と指導者の提供(サッカー広場コーチが8人参加)と、フィットネスプログラムの補助(ヨガ・エクササイズのインストラクターが4名参)を努めました。

(参考/2007年5月におけるクラブ会員数)

		定員	2007.5	過不足	
サッカー広場					
月曜	年中	36	36	0	
	年長	48	53	5	
	1年	48	48	0	
	2年	48	51	3	
	3年	48	60	12	
	4年	48	38	-10	
	5年	36	19	-17	
	6年	36	13	-23	
	女子	14	9	-5	
	木曜	年中	36	33	-3
		年長	48	47	-1
		1年	48	48	0
		2年	48	47	-1
	計	542	502	-40	
サッカー育成					
サッカースクール			1		
U-15	1年	20	5	-15	
	2年	20	2	-18	
	3年	20	14	-6	
U-18	1年	20	0		
	2年	20	0		
	3年	20	3		
選手	U-23	-	7		
	一般	-	3		
計			35		
サッカー生涯					
けやき		-	22		
シニア		-	20		
ビジター		-	2		
登録なし		-	2		
Sシニア		-	23		
計		-	69		
サッカー合計			606		

		定員		過不足		
テニス	北小	18~19	24	18	-6	
	火曜	19~20	24	14	-10	
	駒場	17~18	24	11	-13	
	水曜	18~19	24	17	-7	
	駒場	15~16	24	3	-21	
	木曜	16~17	24	24	0	
	中尾	17~18	24	11	-13	
	火曜	18~19	24	14	-10	
	本太インドア	18~19	15	15	0	
	木曜	19~20	15	7	-8	
	天沼ジュニア		24	22	-2	
	計		246	156	-90	
	初心者水曜		12	12	0	
	初心者金曜		12	12	0	
	一般		16	14	-2	
計		40	38	-2		
テニス合計			286	194		
フィットネス	体操広場	15~16	30	14	-16	
		16~17	30	14	-16	
	スポーツ探検		30	7	-23	
	ヒップホップ	15:50~16:40	20	5		
		17~17:50	20	5		
	計		130	45	-85	
	ヨガエクササイズ					
	月曜		9~10	30	26	-4
			10~11	30	29	-1
			13~14	30	10	-20
	火曜		9~10	30	30	0
			10~11	30	29	-1
			11~12	30	26	-4
	水曜		9~10	30	30	0
			10~11	30	27	-3
			11~12	30	27	-3
	木曜		9~10	30	29	-1
			10~11	30	30	0
			11~12	30	22	-8
			13~14	30	16	-14
	金曜		9~10	30	29	-1
			10~11	30	30	0
			11~12	30	14	-16
	土曜	16~17	30	28	-2	
	養成	13~14	10	7	-3	
	常盤 火曜		9~10	25	22	-3
			10~11	25	28	3
			11~12	25	11	-14
	常盤 水曜		9~10	25	25	0
			10~11	25	24	-1
			11~12	25	14	-11
	託児水曜		10	10	0	
	託児金曜		10	10	0	
	計		690	583	-107	
	太極拳		25	6		
フィットネス合計			845	634		
総合計				1,434		

*ただし、複数プログラムに参加している会員は、重複してカウントしている。

2 . 2006 年度決算報告 (2006 年 4 月 1 日 ~ 2007 年 3 月 31 日) : 採決事項

収入総額は約 3,300 万円となり、昨年よりも 160 万ほど増加しましたが、予算には 240 万ほど達しませんでした。

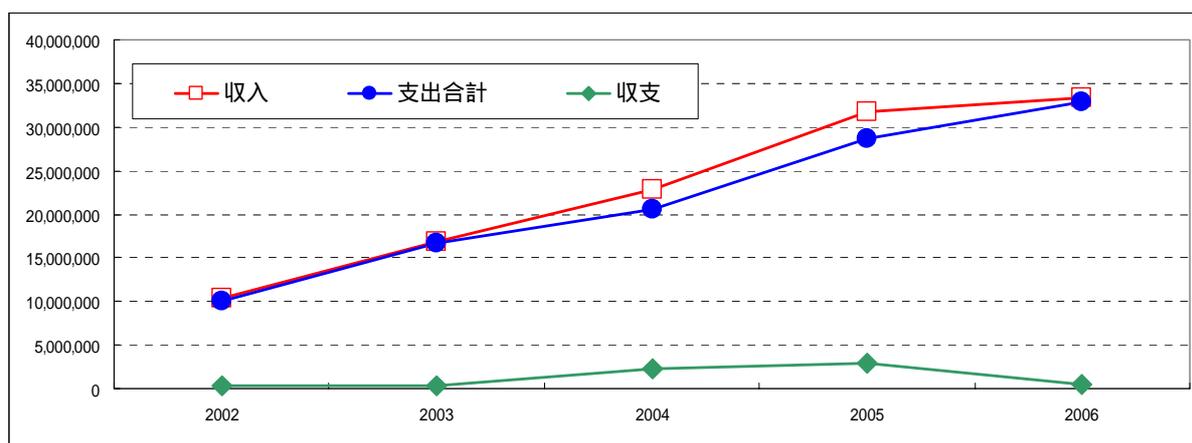
昨年度に比べた大きな増収要因は、ヨガ会員の増加(クラスの増設)ですが、クラブハウスの整備の関係でクラスの新設が遅くなったところもあり、予算までは達しませんでした。

経常支出は約 3,300 万円で、予算よりも 270 万円ほど少なくなりました。この結果、単年度の収支では 42 万円ほど黒字となりました。

クラブハウスの改築や設備に約 600 万円、クラブカー 2 号の購入に 100 万円を支出し資産計上したため、流動資産(現金)の繰越金は 24 万円となり、昨年までの 727 万円から大きく減少しています(その分固定資産が増加しています)。

(年度収支と過年度との比較)

年度	2006 年度		過年度			
	予算	決算	2005	2004	2003	2002
経常収入	35,786,000	33,378,885	31,661,580	23,206,369	16,911,025	10,394,823
経常支出	35,672,025	32,950,819	28,712,254	19,990,075	16,603,470	10,058,884
経常収支	113,975	428,066	2,949,326	3,216,294	307,555	335,939
繰越金	1,678,342	242,047	7,274,367	5,321,696	2,105,402	1,797,847



■年度収支の経年変化■

決算資料／貸借対照表

貸借対照表

2007年 3月31日現在

特定非営利活動法人 浦和スポーツクラブ
一般会計

(単位:円)

科 目	金 額	
【資産の部】		
流動資産		
現 金 預 金	3,603,161	
現 金	210,862	
普 通 預 金	3,392,299	
未 収 会 費	439,400	
前 払 費 用	521,580	
流動資産合計		4,564,141
固定資産		
その他の固定資産		
構 築 物	4,262,190	
車 両 運 搬 具	1,127,444	
什 器 備 品	1,360,191	
電 話 加 入 権	76,440	
敷 金	650,000	
その他の固定資産合計	7,476,265	
固定資産合計		7,476,265
資産合計		12,040,406
【負債の部】		
流動負債		
未 払 費 用	630,000	
未 払 費 用	1,689,840	
前 受 金	1,952,000	
預 り 金	49,894	
流動負債合計		4,321,734
負債合計		4,321,734
【正味財産の部】		
正味財産		7,718,672
(うち当期正味財産減少額)		(455,504)
負債及び正味財産合計		12,040,406

06 年収支計算書 (1/3)

収 支 計 算 書

2006年 4月 1日から2007年 3月31日まで

特定非営利活動法人 浦和スポーツクラブ

一般会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
【経常収入の部】				
会 費 収 入	[654,000]	[780,000]	[△ 126,000]	
正 会 員 会 費 収 入	354,000	310,000	44,000	
賛 助 会 員 会 費 収 入	300,000	470,000	△ 170,000	
事 業 収 入	[35,082,000]	[32,371,200]	[2,710,800]	
サ ッ カ ー 普 及 事 業	13,096,000	12,651,700	444,300	
サ ッ カ ー 育 成 事 業	3,552,000	2,550,200	1,001,800	
サ ッ カ ー 生 涯 振 興	4,290,000	3,874,400	415,600	
コ ー デ ィ ン グ シ ョ ン	960,000	598,800	361,200	
ヨ ガ エ ク サ サ イ ズ	8,708,000	7,616,300	1,091,700	
テ ニ ス	4,296,000	4,464,800	△ 168,800	
太 極 拳	180,000	129,000	51,000	
常 盤 ヨ	0	486,000	△ 486,000	
寄 付 金 収 入	[0]	[43,100]	[△ 43,100]	
寄 付 金 収 入	0	43,100	△ 43,100	
雑 収 入	[50,000]	[184,585]	[△ 134,585]	
受 取 利 息	0	1,425	△ 1,425	
雑 収 入	0	121,160	△ 121,160	
審 判 ・ 会 場 手 当	50,000	62,000	△ 12,000	
経常収入合計	35,786,000	33,378,885	2,407,115	
【経常支出の部】				
サ ッ カ ー 普 及	[8,243,015]	[7,545,037]	[697,978]	
諸 謝 金	5,173,200	3,905,032	1,268,168	
用 具 費	2,859,815	3,400,986	△ 541,171	
借 損 料	150,000	180,220	△ 30,220	
雑 費	60,000	58,799	1,201	
サ ッ カ ー 育 成	[5,813,500]	[4,978,595]	[834,905]	
諸 謝 金	4,788,000	4,231,000	557,000	
用 具 費	204,000	86,979	117,021	
借 損 料	150,000	100,270	49,730	
雑 費	170,000	122,506	47,494	
登 録 ・ 参 加 費	501,500	437,840	63,660	
サ ッ カ ー 生 涯	[2,292,000]	[2,183,494]	[108,506]	
諸 謝 金	1,783,000	1,690,500	92,500	
用 具 費	144,000	134,351	9,649	
借 損 料	160,000	251,960	△ 91,960	
雑 費	80,000	11,183	68,817	
登 録 ・ 参 加 費	125,000	95,500	29,500	
キ ッ ズ ・ テ ニ ス	[2,932,660]	[3,020,346]	[△ 87,686]	
諸 謝 金	2,681,300	2,878,184	△ 196,884	
用 具 費	80,000	80,140	△ 140	
借 損 料	171,360	59,040	112,320	
雑 費	0	2,982	△ 2,982	
テ ニ ス (大 人)	[754,400]	[501,900]	[252,500]	
諸 謝 金	504,000	435,000	69,000	
用 具 費	20,000	1,680	18,320	
借 損 料	115,200	65,220	49,980	
ヨ ガ エ ク サ サ イ ズ	[2,699,480]	[3,949,040]	[△ 1,249,560]	

06 年収支計算書 (2/3)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
託 児 関 連 用 品	0	12,190	△	12,190
託 児 謝 金	0	24,200	△	24,200
諸 謝 金	2,576,000	2,557,450		18,550
用 具 費 料	0	△ 12,000		12,000
借 損 料	123,480	1,367,200	△	1,243,720
太 極 拳	[240,000]	[210,000]	[30,000]
諸 謝 金	240,000	210,000		30,000
コ ー デ ィ ン グ シ ョ ン	[688,920]	[892,263]	[△	203,343]
借 損 料	52,920	12,210		40,710
諸 謝 金	606,000	879,780	△	273,780
用 具 費 料	30,000	0		30,000
雑 費	0	273	△	273
講 習 会	[102,000]	[2,620]	[99,380]
諸 謝 金	90,000	0		90,000
雑 費	12,000	2,620		9,380
そ の 他 の 事 業	[150,000]	[82,500]	[67,500]
諸 謝 金	0	82,500	△	82,500
雑 費	150,000	0		150,000
常 盤 セ ミ ナ ー ル ー ム	[0]	[199,246]	[△	199,246]
消 耗 什 器 備 品 費	0	96,659	△	96,659
消 耗 品 費	0	545	△	545
水 道 光 熱 費	0	14,042	△	14,042
諸 謝 金	0	88,000	△	88,000
管 理 費	[11,756,050]	[9,385,778]	[2,370,272]
賃 金 費	3,184,800	2,583,630		601,170
会 議 費	36,000	28,838		7,162
通 信 運 搬 費	360,000	303,069		56,931
消 耗 品 費	650,000	312,630		337,370
賃 借 料	2,981,250	1,778,558		1,202,692
印 刷 費	100,000	20,270		79,730
保 険 料	1,026,000	962,410		63,590
法 定 福 利 費	150,000	388,430	△	238,430
事 務 所 新 設 費	650,000	1,015,131	△	365,131
雑 役 務 費	1,898,000	1,468,334		429,666
諸 謝 金	0	15,500	△	15,500
雑 費	190,000	80,843		109,157
車 両 関 係 費	530,000	428,135		101,865
經常支出合計	35,672,025	32,950,819		2,721,206
經常収支差額	113,975	428,066	△	314,091
【その他資金収入の部】				
敷 金 ・ 保 証 金 戻 り 収 入	[0]	[165,000]	[△	165,000]
敷 金 戻 り 収 入	0	165,000	△	165,000
その他資金収入合計	0	165,000	△	165,000
【その他資金支出の部】				
固 定 資 産 取 得 支 出	[5,060,000]	[6,933,026]	[△	1,873,026]
構 築 物 建 設 支 出	4,060,000	4,463,026	△	403,026
車 両 運 搬 具 購 入 支 出	1,000,000	1,000,000		0
什 器 備 品 購 入 支 出	0	1,470,000	△	1,470,000

収支計算書(3/3)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備考
敷 金 ・ 保 証 金 支 出	[650,000]	[650,000]	[0]	
敷 金 支 出	650,000	650,000	0	
徴 収 不 能 会 費 収	[0]	[42,000]	[△ 42,000]	
その他資金支出合計	5,710,000	7,625,026	△ 1,915,026	
当期収支差額	△ 5,596,025	△ 7,031,960	1,435,935	
前期繰越収支差額	7,274,367	7,274,367	0	
次期繰越収支差額	1,678,342	242,407	1,435,935	

正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

2006年 4月 1日から2007年 3月31日まで

特定非営利活動法人 浦和スポーツクラブ

一般会計

(単位:円)

科 目	金 額		
【増加の部】			
資産増加額			
構築物建設額	4,463,026		
車両運搬具購入額	1,000,000		
什器備品購入額	1,470,000		
敷金・保証金増加額	650,000	7,583,026	
負債減少額			
増加額合計			7,583,026
【減少の部】			
資産減少額			
当期収支差額	7,031,960		
構築物減価償却額	200,836		
車両運搬具減価償却額	530,925		
什器備品減価償却額	109,809		
敷金・保証金減少額	165,000	8,038,530	
負債増加額			
減少額合計			8,038,530
当期正味財産減少額			455,504
前期繰越正味財産額			8,174,176
期末正味財産合計額			7,718,672

財産目録

財産目録

2007年 3月31日現在

特定非営利活動法人 浦和スポーツクラブ
一般会計

(単位:円)

科 目	金 額	
【資産の部】		
流動資産		
現金 預金	3,603,161	
現金 現金手許有高	210,862	
普通預金	3,392,299	
埼玉りそな (NPO名義)	268,502	
郵貯ばるる	952,818	
郵貯振替口座	2,165,245	
城北信用金庫	5,734	
未収会費	439,400	
前払費用	521,580	
流動資産合計		4,564,141
固定資産		
その他の固定資産		
構築物	4,262,190	
車両運搬具	1,127,444	
什器備品	1,360,191	
電話加入権	76,440	
敷金	650,000	
その他の固定資産合計	7,476,265	
固定資産合計		7,476,265
資産合計		12,040,406
【負債の部】		
流動負債		
未払費用	630,000	
未払費用	1,689,840	
前受金	1,952,000	
預り金	49,894	
雇用保険	29,656	
健康保険	7,380	
厚生年金	12,858	
流動負債合計		4,321,734
負債合計		4,321,734
正味財産		7,718,672

監査報告書

平成 19 年 6 月 4 日

特定非営利活動法人 浦和スポーツクラブ
理事長 倉 持 守 三 郎 殿

監 事 三 戸 一 嘉 

監 事 宮 崎 正 弘 

我々は、特定非営利活動法人浦和スポーツクラブの平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日までの 2006 年度の理事の業務執行状況、及び事業報告書、貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、並びに財産目録（以下、事業報告書等）について、監査を実施した。

監査の結果、我々の意見は次のとおりである。

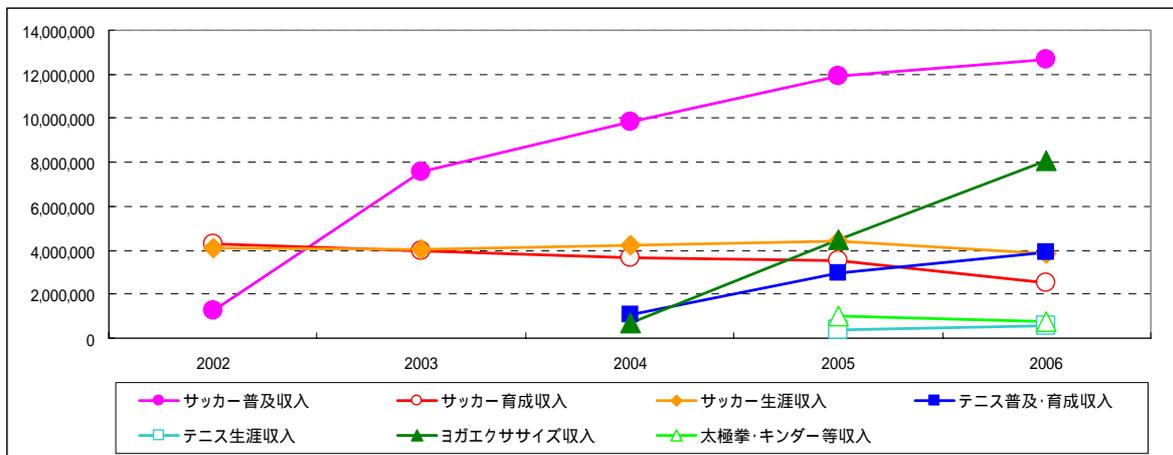
- (1) 理事の業務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められなかった。
- (2) 上記の事業報告書等が、特定非営利活動法人浦和スポーツクラブの平成 19 年 3 月 31 日現在の財産状況、及び同日をもって終了する事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

以 上

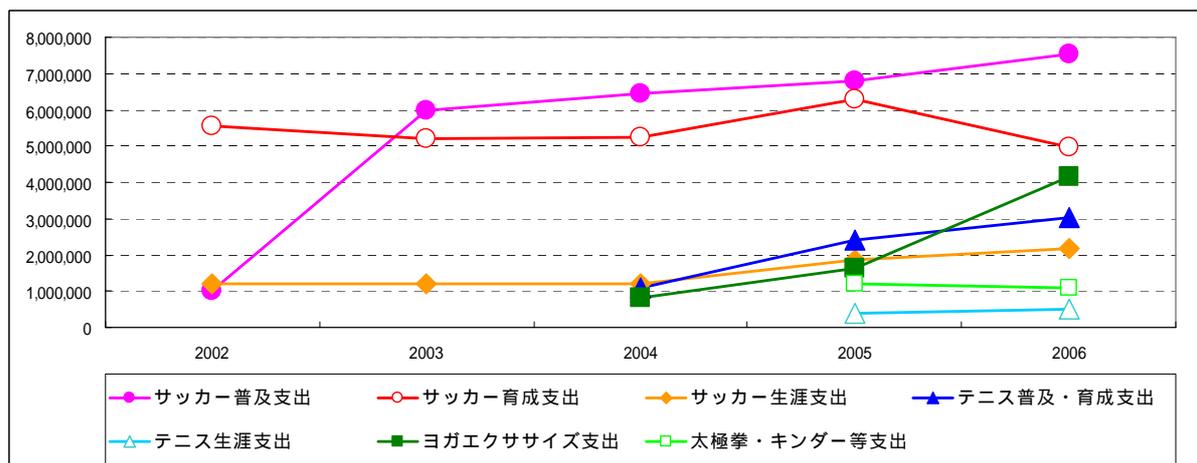
【収支分析】

サッカー広場を開始した2002年以後の、クラブの部門別の収入、支出、収支をグラフにしました。

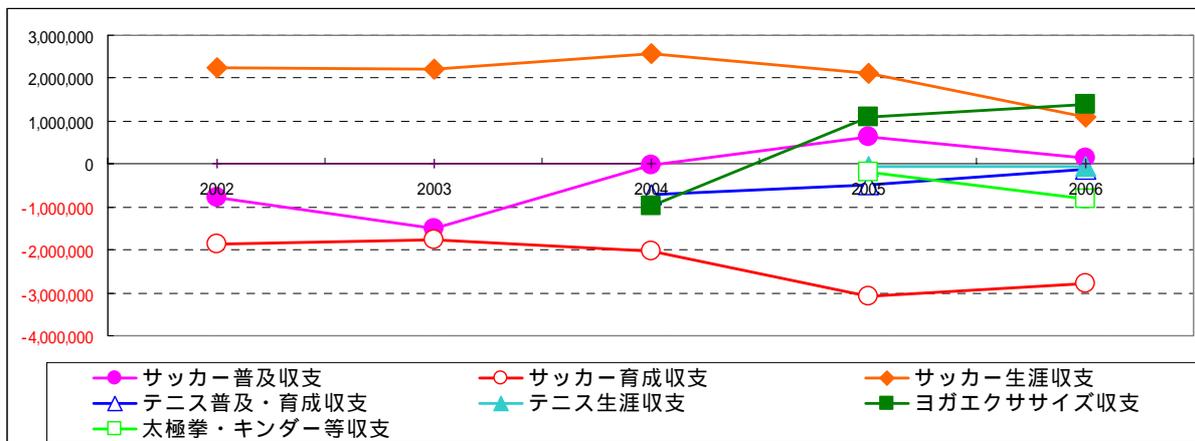
□収入の推移



支出の推移



部門別収支



3 . 2007 年度事業計画（案）：採決事項

今年度は、クラブハウス、フラット常盤など06年度から利用可能となった施設の活用と、これを実現するためのクラブの運営体制の充実を図ることを目指します。

そのためにも、クラブ会員が、交流を深めたり、クラブの諸活動に参加したりする中で、「クラブがあること」が楽しみであると感じられるようになると良いと思います。

具体的には、次のことに取り組みます。

- 既存の活動の充実、発展を図る
- 地域のスポーツ振興に取り組む（クラブの運営に参加する）会員・指導者を増やす
- 地域との連携強化を図り、高齢者や子供むけのプログラムの充実を図る

（1）既存活動の充実・発展を図る

運営体制を充実させる

1）部門の整理と会員も参加できる運営会議の設立

各プログラムにおいて会員と指導者やクラブとの情報の交流頻度を高め、会員の声が活動に活かされていくようにするために運営会議をつくります。

2）専門部会の設立

種目横断的に情報交換を行い、クラブとしての活動方針などを確認していくために、必要に応じて専門部会を開催します。たとえば、以下のような部会を想定しています。

指導者部会：指導者同士が顔の見える関係をつくります。活動方針の整合もはかります。

子ども部会：子ども向けプログラムのあり方などについて検討します

シニア部会：高齢者向けのプログラムのあり方などについて検討します。

地域連携部会：地域住民向けの教室などについて検討します。

サッカー

- サッカー広場のコーチ確保と活動の位置づけを確立するため、大学等との連携を進めます。
- 小学生向けスクールの充実を図ります
- U18の再結成にむけた準備を行いません（現中3の卒業後をにらむ）
- 生涯、選手は現状の人数にあわせて活動内容を見直し、無理のない活動を続けます。
- 育成、生涯とも会員の増加をはかります。

テニス

- キッズテニスの会員増加をはかります。
- 初心者テニスや、ジュニアテニス会場の確保を図り、キッズからシニアまでの活動の場づくりを目指します。

フィットネス

- 体操広場の会員増加をはかります。
- ヨガ・エクササイズ以外の種目（例 ステップ等）にも取り組みます。
- シニア向け、子ども向けのプログラムの充実を図ります。

その他

- 浦和スポーツ塾の開催回数を増加します（年3回目標）

<指導・運営体制>

		担当理事	指導者・スタッフ（2007年5月時点）
全体統括		倉持	
総務企画	（技術）	戸苅	
	（医事・渉外）	塩野	
	（事務局）	小野崎	職員：中山 スタッフ：小野崎、真下、本田、中曽根
サッカー	全体	（戸苅）	
	普及（広場）	小野崎、清水	中山、中田、関、蛭沼、坪井、村井、山崎
	育成	池森、伊澤	柴田、大藤、佐藤、金子、青木
	生涯振興	青木、金子、大村、石井、土橋	青木（兼）
テニス	全体	萩原	
	キッズ	（駒場）	三浦、三沢、炭谷、内村、長島、加藤、斉藤
		（本小）	三浦 三沢
		（北小）	矢部 谷中、宮川、梶谷
		（中尾）	三沢 内村
	ジュニア	（天沼）	三浦 炭谷
	一般	（初中級者）	矢部 横田
（初心者）		堀口 萩原（兼）	
フィットネス	全体	山田	
	ヨガ	山田	山田（兼） 中曽根、千装、岡崎、金木、田丸、末広、佐藤、桑原
	体操広場	（小野崎）	中山 中田
	太極拳	（小野崎）	菊池

*但し理事名は、改選前のもの。改選後 新理事にて担当を再整理

（兼）は、担当理事が指導者等を兼務している場合

は、各プログラムにおけるチーフ

スポーツプログラム(2007.5時点)

部門	コース	概要
サッカー	広場	幼稚園生～小学6年生を対象に、サッカーで遊ぼうを合い言葉に、週1回1時間、ミニゲームを中心に活動。 2006年は約600名が参加。
	スクール	小学校6年生を対象として、個人技術の習得を目的としたスクール。水曜日午後7時～8時頃。
	ユース	中学生(U-15) 高校生(U-18)を対象として、チームとしての勝敗にとらわれず、個々の育成を図ることを目的とした活動。ユース連盟等に加盟し、各種大会に参加。
	選手	2007年度は、さいたま市浦和リーグ1部に参戦。 18歳以上の学生と社会人、約20名が参加。
	生涯	生涯スポーツとして楽しみながらサッカーを続けることを目的に活動。18歳以上60歳代まで約50名が参加。 選手を目指さずに続けたい中学生や高校生も参加可。
	スーパーシニア 広場	60歳以上を対象。 木曜日サッカー広場の前の時間(13時～15時頃)に実施。
テニス	キッズテニス	幼稚園年長～小学校2・3年生を対象に、体育館で行うスポンジボールのテニス。3箇所で開催中。約100名が参加。
	インドアテニス	小学校3～4年生を対象として、キッズテニスよりやや固めのボールで実施。本太小学校体育館で開催。約30名が参加。
	ジュニアテニス	小学校3年生以上を対象とした、屋外での本格的なテニス。平日夜のナイター練習。主に天沼テニスコート等。
	ビギナー	初心者を対象に、初歩から丁寧に教える。
	一般	初級者～中級者を対象に、障害者交流センターで開催。
フィットネス	ヨガ エクササイズ	「ココロ、カラダきれいに」を合い言葉に、ヨガよりもリズムカルに、エアロビクスよりもゆっくりとしたフィットネスプログラム。現在約550名が参加。 クラブハウスと、北浦和西口フラット常盤の2会場で実施。
	体操広場	様々なスポーツをとおして、総合的に運動能力を高めるトレーニング。年中～小学校4年生頃まで。現在約30名が参加。
	スポーツ探検広場	小学校4年生以上を対象に月2回程度、金曜日の夕方に実施。いろいろなスポーツに楽しみながら挑戦していき、バランスの良い運動神経の発達を目指す。
	太極拳	主に高齢者を対象としたプログラム。楊明時太極拳。
	H I P H O P	幼稚園～小学生まで。本格的HIP HOP!

その他

事業名		概要
学び・遊び	折り紙教室	幼稚園生は親子で、小学生以上は一人でも。折り紙やアートバルーンで楽しく遊ぼう。日本折り紙協会の方が講師として参加。
地域貢献	浦和スポーツ塾	各界のスペシャリストをお呼びし、地域のスポーツ関係者にむけた講演会などを実施。 これまでに、「暑熱対策」「受傷から復帰まで」などを実施。
	チャリティ	開発途上国へのスポーツ用品（中古）の提供などを実施。 これまで、ケニア、アフガニスタン等に寄贈。 中古テニスボールの回収と学校への寄贈
クラブライフ魅力アップ事業		クラブ会員が楽しみながら交流できる各種イベント。 企画の都度、ニュース等でお知らせします。

2007年度(期初)スポーツプログラムと会費

プログラム	対象	曜日	時間(予定)	月会費(予定)	活動場所他	
サッカー	月曜広場	年中・年長	月	15時～16時	2,000円	駒場サブグラウンド ネム入りシャツ代を会費 に含む
		小1・小2	〃	16時～17時		
		小3・小4	〃	17時～18時		
		小5・6・女子	〃	18時～19時		
	木曜広場	年中・年長	木	15時～16時	2,000円	
		小1・小2	〃	16時～17時		
	スクール	小6	水	19時～20時	2,000円	浦和高校
	ユース	中学生 高校生	火・水・金 土・日	2時間程度	6,000円	北小・浦高・常盤北 他
選手	全ての年代	水・土・日	2時間程度	U-23 5,000円	市民リーグ1部	
生涯	全ての年代	土・日	2時間程度	一般 7,000円	市民リーグ他	
スーパーシニア	60歳以上	木	13時～14時半	2,000円	駒場サブグラウンド	
テニス	駒場 キッズ	小1・2	水	17時～18時	2,500円	駒場体育館
		小3以上	水	18時～19時		
	駒場 キッズ	年中・年長	木	15時～16時	2,500円	駒場体育館 年中は秋から
		小1・小2	木	16時～17時		
	北小 キッズ	小1・2	火	18時～19時	2,500円	北浦和小体育館
		小3以上	火	19時～20時		
	中尾 キッズ	小1・2	火	17時～18時	2,500円	中尾小体育館
		小3以上	火	18時～19時		
	インドア	小3・小4	木	18時半～19時半	2,500円	本太小体育館
		小4・小5	〃	19時半～20時半		
ジュニア	小3以上	水	17時半～19時	4,000円	天沼コート他	
一般初心者	初心者	水・金	9時半～11時	3,000円	市営コート他	
シニア	成人男女	金	13時～15時	4,000円	障害者交流センター	
ヨガ エクサ サイズ	領家 スタジオ	高校生以上の 女性	月～金	9:10～10:00	2,000円	各クラス定員制のため 申し込まれたクラス以外には 参加できません
			火・水・木	10:20～11:10		
			月・木	11:30～12:20		
			土	13:30～14:20		
	フラット 常盤	〃	火・水	9:10～10:00	2,000円	
				10:20～11:10		
11:30～12:20						
HIP HOP	年長～小2	水	15:50～16:40	2,500円	領家スタジオ	
	小3～小6	〃	17:00～17:50			
体操広場	年中・年長	金	15時～16時	2,000円	駒場体育館	
	小学1～3年	〃	16時～17時			
スポーツ探検広場	小学4年以上	月2回の金	17時～18時	500円	5月～駒場体育館	
太極拳	全ての年代	土	15時～16時	1,500円	南箇公民館他	
折り紙教室	親子・小学生他	第3火曜	15時～17時	無料	クラブハウス	

* 子どものプログラムで2種目参加の方は500円引きです(スポーツ探検広場は除きます)

<活動日程(予定)>

部門	コース	月	火	水	木	金	土	日
サッカー	広場	駒場			駒場			
	スクール			浦高				
	ユース		北小	浦高		駒場 常北	☆	☆
	選手			田島			☆	☆
	生涯						☆	☆
	スーパーシニア					駒場		
テニス	キッズテニス		北小 中尾	駒場	駒場			
	インドアテニス				本小			
	ジュニアテニス			天沼				
	ビギナー		市営			市営		
	一般					交流 センター		
フィットネス	ヨガエクササイズ	CH	CH FT	CH FT	CH	CH	CH	
	体操広場					駒場		
	スポーツ探検広場					駒場		
	H I P H O P			CH				
	太極拳						南箇	
学び・遊び	折り紙		第3 CH					

CH : クラブハウス FT : フラット常盤

(2) 地域のスポーツ振興に取り組む(クラブの運営に参加する)会員・指導者を増やす
運営部会の開催

(1) に示した部門を中心に、会員や指導者が参加する運営会議を開催します。

イベントの開催「キッズテニス大会 in S A I T A M A」

以下のイベントの実施にむけ、キッズテニス指導者が中心となり準備を進めています。

実施に際しては、大人のテニス会員や、キッズテニス会員の保護者の皆様にもご支援いただきたいと考えています。

- 1) 目的：ジュニア世代へのテニスの普及と、指導者のネットワークづくり、キッズテニス教室の育成を図るために、「第1回 キッズテニス大会 in S A I T A M A」を開催する。
- 2) 期日：2007年10月27日(土)
- 3) 場所：さいたま市立浦和駒場体育館
- 4) 主催：キッズテニス大会 in S A I T A M A 実行委員会
構成団体 NPO法人浦和スポーツクラブ
NPO法人あさひスポーツ・文化クラブ 他
(今年度主管 NPO法人浦和スポーツクラブ)
- 5) 対象：県内の小学生
- 6) その他 笹川スポーツ財団 スポーツエイド対象事業(40万円助成決定)
日本テニス協会 マナーキッズテニス教室同時開催(予定)

(3) 地域との連携強化を図り、高齢者や子供向けのプログラムの充実を図る

浦高プロジェクトなどを活用し、地域住民を対象としたプログラムを展開することを目指します。特に、子どもや親子の参加、高齢者の方々の参加が得られるようなプログラムを検討します。

今年度は、実施可能な日時や方法、実施上の課題を確認していくため、浦和高校、県教委と調整を図りながら、教室形式のプログラムから実施していく予定です。

4 . 2007年度予算 (案) (2007年4月1日 ~ 2008年3月31日) : 採決事項

2007年予算

科 目	金 額		
I 収入の部			
1 会費、入会金収入			
正会員会費収入	¥ 300,000		
〃 入会金収入	¥ 4,000		
賛助会員 (個人)	¥ 150,000		
賛助会費 (法人)	¥ 150,000	¥ 604,000	
2 事業収入			
サッカー事業	¥ 17,595,500		
	¥ -		
フィットネス事業	¥ 14,649,000		
テニス事業	¥ 6,448,000	¥ 38,692,500	
3 補助金等収入	¥ 400,000	¥ 400,000	
4 雑収入	¥ 50,000	¥ 50,000	
当期収入合計 (A)			¥ 39,746,500
収入合計 (B)			¥ 39,746,500
II 支出の部			
1 事業費			
サッカー事業	¥ 15,387,240		
フィットネス事業	¥ 8,783,720		
テニス事業	¥ 5,140,280		
保険料	¥ 676,000		
その他事業	¥ 202,000	¥ 30,189,240	
2 管理費			
事務人件費	¥ 3,078,000		
通信・役務費	¥ 2,016,000		
印刷・事務消耗品	¥ 580,000		
施設・車両費	¥ 2,673,000		
その他	¥ 356,000	¥ 8,703,000	
3 予備費			
当期支出合計 (C)			¥ 38,892,240
当期収支差額 (A) - (C)			¥ 854,260
次期繰越収支差額 (B) -			¥ 854,260

2007予算前年決算比較

科 目	金 額		
	2007予算	2006決算	比較
I 収入の部			
1 会費、入会金収入			
正会員会費収入	¥ 300,000	¥ 310,000	¥ -10,000
〃 入会金収入	¥ 4,000	¥ -	¥ 4,000
賛助会員（個人）	¥ 150,000	¥ 190,000	¥ -40,000
賛助会費（法人）	¥ 150,000	¥ 280,000	¥ -130,000
2 事業収入			
サッカー事業	¥ 17,595,500	¥ 19,076,300	¥ -1,480,800
陸上事業	¥ -	¥ -	¥ -
フィットネス事業	¥ 14,649,000	¥ 8,830,100	¥ 5,818,900
テニス事業	¥ 6,448,000	¥ 4,464,800	¥ 1,983,200
3 補助金収入等	¥ 400,000	¥ -	¥ 400,000
4 雑収入等	¥ 50,000	¥ 227,685	¥ -177,685
当期収入合計（A）	¥ 39,746,500	¥ 33,378,885	¥ 6,367,615
前期繰越残高	¥ 242,407	¥ 8,174,176	¥ -7,931,769
収入合計（B）	¥ 39,988,907	¥ 41,553,061	¥ -1,564,154
II 支出の部			
1 事業費			
サッカー事業	¥ 15,387,240	¥ 14,707,126	¥ 680,114
フィットネス事業	¥ 8,783,720	¥ 5,250,549	¥ 3,533,171
テニス事業	¥ 5,140,280	¥ 3,522,246	¥ 1,618,034
そのほか事業	¥ 878,000	¥ 85,120	¥ 792,880
2 管理費			
事務人件費	¥ 3,078,000	¥ 2,583,630	¥ 494,370
通信・役務費	¥ 2,016,000	¥ 1,771,403	¥ 244,597
印刷・事務消耗品	¥ 580,000	¥ 332,900	¥ 247,100
施設・車両費	¥ 2,673,000	¥ 3,221,824	¥ -548,824
その他	¥ 356,000	¥ 1,476,021	¥ -1,120,021
当期支出合計（C）	¥ 38,892,240	¥ 32,950,819	¥ 5,941,421
経常収支差額（A）－（C）	¥ 854,260	¥ 428,066	¥ 426,194
その他支出（固定資産分）	¥ -	¥ 185,659	
次期繰越収支差額（B）－	¥ 1,096,667	¥ 242,407	¥ 854,260

5 . 理事改選

第13条 この法人に以下の役員を置く。

(1) 理事 8人以上15人以内

(2) 監事 1人または2人

2 理事のうち、1人を理事長、3人を副理事長とする。

3 役員のうちには、それぞれの役員についてその配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

4 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることはできない。

05～06年度役員

理事長 倉持守三郎

副理事長 戸苅晴彦

塩野潔

小野崎研郎

理事 青木宏至

金子文明

池森俊文

大村哲哉

清水恵二

土橋則久

石井亮二

伊澤浩助

山田結美

萩原紀男

監事 三戸一嘉

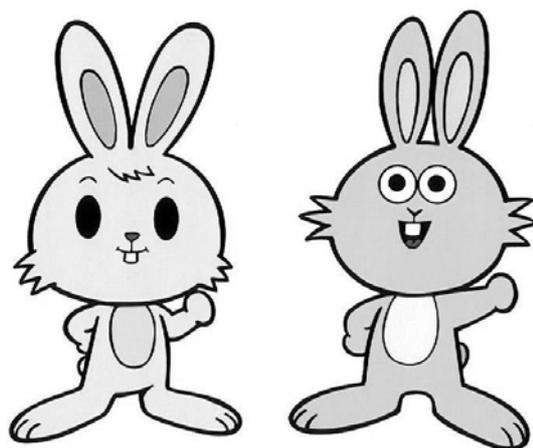
宮原正弘

6. 理事長専決事項について：採決事項

「理事長専決事項委任を求める件」

平成19年度中において、新たに会員に負担義務のない場合の予算の追加更正について、理事会に図り、理事長がこれを専決処分することができることを承認願います。

ただし、専決事項は次回総会に報告いたします。



2007.6.10

NPO法人 浦和スポーツクラブ

(事務所) 〒330-0072 さいたま市浦和区領家4 - 5 - 6

電話 048 - 887 - 7140

FAX 048 - 679 - 1063

e-mail info@urawasc.org

HP-URL <http://www.urawasc.org>